

# 育英大学・育英短期大学 教育研究所

令和5年5月吉日

各位

育英大学・育英短期大学教育研究所  
所長 内田基美

## 令和5年度第1回リカレント講座のご案内

謹啓 新緑の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から育英大学・育英短期大学にご支援を賜り誠にありがとうございます。

本研究所は、育英大学と育英短期大学の教育研究所として、学校教育と保育に携わる方々を対象にした「リカレント講座」を毎年実施して少しでも地域に貢献できればと願っております。

今年度のリカレント講座においては、講演のほかに研究所所員を中心に、保育・教育相談も実施する予定であります。つきましては、教職員の皆様方へのご周知と受講の推奨を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

末筆となりましたが、皆様のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

謹白

記

- 日時 令和5年7月1日(土) 13:30~15:30 (受付 13:00~)
- 場所 本学 125教室
- 内容  
①講演(定員100名) 対象:保育・教育関係者

テーマ:「これからの保育のゆくえ」

~講演趣旨~

今、子どもたちに何が起きているのか、保育現場が抱く不安や危機感について俯瞰しながらも、これからの保育のゆくえに希望を見出すための示唆をいただけたらと願って講演を企画いたしました。

講師: 松居和氏 (作家・音楽家・元埼玉県教育委員長)

~プロフィール~

1954年東京生まれ。慶應義塾大学哲学科からカリフォルニア大学(UCLA)民族芸術科に編入、卒業。尺八奏者として多数のアメリカ映画に参加。1988年、アメリカにおける学校教育の危機、家庭崩壊の現状を報告したビデオ「今、アメリカで」を制作。1990年より98年、東洋英和女学院短期大学保育科講師。NHK「すくすくあかちゃん」、テレビ静岡「テレビ寺子屋」出演。衆議院内閣府委員会「保育の無償化」参考人を務める。朝日新聞「私の視点」、文藝春秋社「日本の論点」執筆。「先進国社会における家庭崩壊」「保育者の役割」に関する講演を保育・教育関係者、父母対象に行い、欧米の後を追う日本の状況に警鐘を鳴らしている。著書に『家庭崩壊・学級崩壊・学校崩壊』『21世紀の子育て』『なぜわたしたちは0歳児を授かるのか』などがある。2022年に『ママがいい!』をグッドブックスより発行。

### ②教育・保育相談

相談時間は: 15:30~16:30の間(時間は要相談)

相談担当者: 堤教授(教育学)、大佐古教授(教育学)、山本准教授(発達障害)

- 申込方法: 氏名、所属機関、メールアドレス、相談希望者は相談の簡単な内容を下記E-mailにてお申込みください。
- 申込期限: 令和5年6月20日(火) ※定員に空きがある場合は当日受付も可能です。

《お問い合わせ先》

育英大学・育英短期大学 教育研究所

TEL:027-352-1981(代) FAX:027-353-8225

E-mail:kanrika@ikuei-g.ac.jp